



環境教育活動実践報告

ひたちなか市立阿字ヶ浦中学校



本校は、阿字ヶ浦海岸に近く、波の音を聞くことができ、夏になるとオニヤンマが見られる自然環境に恵まれた学校です。また、近隣には国営ひたち海浜公園や沢田湧水地があり、生活しやすい学校・地域をめざして取り組んでいます。



【春の阿字ヶ浦中学校】



【校舎前花壇】



【正門前花壇】

学校花壇や校庭の整備

校内の花壇には様々な植物が植えられ、季節ごとにさまざまな花で彩られています。チューリップやマリーゴールド、ネモフィラやコキア、朝顔のグリーンカーテンなども育てています。

校庭の除草作業は、毎年保護者の協力の下で、全校生徒で行っています。



【ネモフィラ】



【コキア】



【PTA奉仕作業】



地域に根ざした環境学習

総合的な学習では、縦割り班で課題解決学習に取り組んでいます。

スカシユリの保護活動は先輩から後輩へと引き継がれ、今年度で17年目になりました。環境について学習したグループでは、学校の木が1年間で吸収するCO₂の量を調べたり、海水が1℃上昇すると体積がどれくらい増えるのかを実験したりしました。地球温暖化が私たちの暮らしに与える影響について、ポスターにしたり、プレゼンテーション資料にまとめて校内で発表したりしました。



◆ 一年間で吸収する二酸化炭素の量
 ・学校で一番大きい木 1840kg
 ・学校で一番小さい木 575kg

【木が吸収するCO₂の量調べ】



【海水と水道水の水温上昇実験】



【ポスター作成】



【総合的な学習 発表】

地域に残る貴重な自然の保護活動

総合的な学習の時間などを使いながら地域に残る貴重な自然「沢田湧水地」「スカシユリ」の保護活動を行っています。

「沢田湧水地」には希少な動植物が生息しており、茨城県環境アドバイザー同行の下、年に2回「沢田湧水地」の動植物の観察や湿地の水質調査及び保全活動等を行っています。

「スカシユリ」は、地元の阿字ヶ浦海岸に昔数多く生えていたものです。この「スカシユリ」の群生を復元するために校内のプランターを利用して球根の増殖を行ったり、海岸の砂丘地帯のスカシユリの野外調査を行ったりしています。

上記2つの活動はひたち海浜公園のスクールパートナーとして同公園の協力を得ながら行っています。また、阿中学区明るく住みよい地域をつくる会環境部会等の協力で、阿字ヶ浦海岸に看板を作成するなど、学校だけではなく地域と連携しながら環境教育活動を進めています。

これらの活動は、環境シンポジウムや第17回世界湖沼会議学生会議での発表や学校だより等で保護者や地域の方に広く知らせています。

沢田湧水地に生息する動植物



【オゼイトトンボ】
(茨城県レッドデータブック「希少種」)



【ホトケドジョウ】
(茨城県レッドデータブック「希少種」)
(環境省レッドリスト「絶滅危惧IB類」)



【ミクリ】
(茨城県レッドデータブック「希少種」)
(環境省レッドリスト「準絶滅危惧種」)

沢田湧水地現地観察会



【動植物の観察】



【水質調査】



【湿地の保全活動】

スカシユリの復元活動



【プランターでの育苗】



【スカシユリの球根】



【海岸砂丘のスカシユリ】